

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

- 1) 棚卸資産の評価は、最終仕入原価法を採用している。
- 2) 固定資産の減価償却方法は、定額法により帳簿価額を直接減額している。
- 3) 消費税に関する会計については、税込み方式でおこなっている。
- 4) 引当金の計上基準について
退職給付引当金は、期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。
- 5) 資金の範囲
期末における資金の範囲は、現金、預貯金、未収金、立替金、預り金及び前受金を含めている。
なお、前期末残高及び当期末の内容は、3に記載するとおりである。

2. 基本財産増減及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

| 科目 | 前期末残高 | 当期末残高 |
|------|-----------|-----------|
| 定期預金 | 5,000,000 | 5,000,000 |

3. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

| 科目 | 前期末残高 | 当期末残高 |
|----------|------------|------------|
| 現金 | 53,058 | 58,277 |
| 普通預金 | 36,928,871 | 20,581,436 |
| 定期預金 | 7,000,000 | 27,000,000 |
| 未収入金 | 42,247 | 99,600 |
| 前払費用 | 336,127 | 261,417 |
| 合計 | 44,360,303 | 48,000,730 |
| 前受金等 | 543,555 | 343,024 |
| 預り金 | 263,249 | 400,507 |
| 合計 | 806,804 | 743,531 |
| 次期繰越収支差額 | 43,553,499 | 47,257,199 |

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)

| 科目 | 取得価額 | 減価償却累計 | 当期末残高 |
|-------|-----------|-----------|---------|
| 車輛運搬具 | 903,750 | 903,749 | 1 |
| 什器備品 | 1,654,170 | 1,452,612 | 201,558 |

